

総括：概ね満足との評価。

事業所名	放課後等デイサービスわらうん
------	----------------

公表日 令和8年 4 月 20日

利用児童数 9名 回収数 6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6名					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5名					無回答1名
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6名					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6名					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6名					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5名			1名		支援プログラムは公表しているが、ホームページを開示したばかりであり、保護者への周知が十分ではなかったと考えられる。今後は契約時や面談時、連絡帳アプリ等でも支援プログラムの掲載を案内し、保護者が内容を確認しやすいよう周知を進めていく。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6名					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6名					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6名					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5名					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4名	1名		1名		開所間もないため、地域交流の機会は十分に設けられていない。今後は地域行事への参加や公共施設の利用、地域とのつながりを意識した活動を計画し、子どもの状況に応じて交流機会を設けていく。実施状況については保護者へも周知する。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6名					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6名					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						現在は個別相談を中心に実施している。今後は保護者向けの情報提供や研修等を検討する。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6名					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6名					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6名					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						開所間もないため未実施。今後保護者交流等の開催を検討する。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6名					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6名					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6名					連絡帳アプリ、ホームページ、閲覧ファイルにて
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6名					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6名					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4名			2名		開所間もないため、避難訓練の実施や周知の機会が十分ではなかったと考えられる。避難訓練は安全計画に基づき定期的に実施し、訓練の様子や内容を連絡帳アプリ等で写真を添えて保護者へ報告すること、安心して利用していただけるよう情報発信を充実させていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6名					安全計画に基づく支援を実施し、避難訓練等の様子は連絡帳アプリ等を活用して写真とともに保護者へ周知していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6名					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6名					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6名					
	29	事業所の支援に満足していますか。	5名	1名				概ね満足との評価をいただいた一方で、「どちらともいえない」というご意見もあった。開所間もないことから、今後も保護者との信頼関係を築きながら、一人ひとりのニーズに応じた支援や情報共有の充実を図り、より安心・満足して利用していただける事業所づくりに努めていく。

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスわらうん		令和8年 4 月 20日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		段差のない開放的な空間とし、障害特性に配慮した分かりやすい環境づくりに努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		利用児童の状況に応じて、クールダウンや一人で落ち着いて過ごせる個別の部屋・場所を利用できるよう配慮しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		職員ミーティングを随時開催し、支援内容や課題を共有・検討するとともに、振り返りを行いながら業務改善につなげています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。				開所間もないため、保護者の意向を十分に業務改善へ反映できていません。今後は評価結果を活用し、継続的な改善に取り組みます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				開所間もないため、現時点では第三者評価は実施していません。今後、第三者評価の導入を検討し、業務改善につなげていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			法人内で研修を実施しています。外部研修への参加は人員配置の都合により難しいため、今後は参加機会の確保を検討します。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムを作成し、公表するとともに、内容の充実に努めています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		アセスメントを行い、こどもと保護者のニーズや課題を踏まえて、個々の状況に応じた支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		児童発達支援管理責任者と支援に関わる職員がミーティングで意見交換を行い、共通理解のもと、こどもの最善の利益を考慮した支援計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		放課後等デイサービス計画を職員間で共有し、内容を確認しながら計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインを踏まえ、本人・家族・移行・地域支援の視点を取り入れ、個々に応じた支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員間で意見を出し合い、利用児童の状況に応じた活動プログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		利用児童の状況に応じて活動内容を工夫し、プログラムが固定化しないよう努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別活動と集団活動を組み合わせ、毎日両方の活動が行えるよう支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		日々の支援内容を記録し、職員間で共有・検証を行いながら、支援の改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		こどもが活動や遊びを自ら選択できる機会を設け、自己決定する力を育てられるよう支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		保育所や学校等の関係機関と情報共有や支援会議を行い、連携した支援に努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校と日常的に連携し、下校時刻の確認や送迎時の情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				現在、対象となる利用者がいないため実績はありません。今後、該当する場合は、本人・保護者の同意を得た上で必要な情報提供を行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。				現在は実施していません。今後、地域との交流機会について検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		自立支援協議会等へ参加し、地域の関係機関との情報共有や連携に努めています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡帳や送迎時、面談等を通じて日頃から保護者と情報共有を行い、こどもの状況や課題について共通理解に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				開所間もないため実施していません。今後、保護者のニーズを踏まえ、家族支援や研修の機会について検討します。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。				保護者の意向を十分に確認し、本人の意思についても可能な限り確認しています。今後も本人の意思をより丁寧に支援へ反映できるよう努めます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。				開所間もないため実施していません。今後、保護者会や交流の機会の開催について検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			

非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		絵カードやタブレットを活用し、こどもの特性に応じた意思疎通に努めています。保護者には連絡帳や電話等で分かりやすい情報伝達を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。				開所間もないため実施していません。今後、地域住民との交流や地域に開かれた事業運営について検討していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。				服薬やてんかん発作等は確認していますが、予防接種歴の確認は十分ではありません。今後、確認体制を整備します。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			保護者からの申出に基づき、主におやつ提供時の食物アレルギーに配慮して対応しています。必要に応じて、医師の指示内容も確認します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止委員会や職員研修を実施し、個別事例についても検討しながら適切な対応に努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			

○事業所名	放課後等デイサービスわらうん			
○保護者評価実施期間	令和8年 3月1 日 ～ 令和8年 3月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 名	(回答者数)	6 名
○従業者評価実施期間	令和8年 3月1 日 ～ 令和8年 3月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの発達や特性に応じた個別支援を行い、安心して過ごせる環境づくりを大切にしている。	保護者との連絡や学校との情報共有を密に行い、個別支援計画に基づいた支援を実施している。また、活動内容を工夫し、成功体験を積み重ねられるよう支援している。	関係機関との連携をさらに深めるとともに、職員研修を充実させ、より質の高い支援の提供につなげていく。
2	安全・安心を第一に考えた支援体制づくりを進めている。	送迎時の安全確認や避難訓練、安全計画・BCPに基づく対応を実施し、事故防止に努めている。また、避難訓練などの様子は連絡帳アプリを活用し、写真を添えて保護者へ分かりやすく報告している。	開所間もないため、今後も継続して避難訓練や安全対策を実施するとともに、連絡帳アプリ等を活用した情報発信を充実させ、保護者により安心して利用していただける体制づくりに努める。
3	家庭や学校との連携を重視し、子どもの成長を継続的に支えている。	連絡帳や送迎時の申し送りを通じて、お子様の様子を丁寧にお伝えするとともに、保護者からの相談や要望を伺い、支援に反映できるよう努めている。	開所間もないため、今後も保護者や学校との連携を深めるとともに、アンケートや日々のご意見を参考にしながら、より質の高い支援と満足度の向上に努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期休暇中の送迎体制や利用時間について、ご希望に十分対応できていない場合がある。	開所間もないため、職員体制や送迎ルート of 調整、人員確保が発展途上であり、すべてのご要望に対応することが難しい状況がある。	職員の確保や送迎体制の見直しを進めるとともに、利用ニーズを把握しながら、長期休暇中の支援体制の充実を図る。
2	開所間もないため、保護者や関係機関との連携体制をさらに充実させる必要がある。	利用開始からの期間が短く、保護者や学校との情報共有・連携を深めている段階である。	保護者との面談や日々の情報共有を継続するとともに、学校や関係機関との連携をより一層強化し、安心して利用できる支援体制の充実にも努める。
3			